

令和4年12月越前町議会定例会

(第2日目)

令和4年12月7日

目 次

第2号（12月7日）

○出席議員及び欠席議員氏名	1
○会議録署名議員の氏名	1
○職務のために議場に出席した者の職氏名	1
○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	2
○議事日程	3
○開 議	4
○一般質問	4
石 田 和 朗 君	4
伊 部 良 美 君	6
○散 会	11

出席議員及び欠席議員氏名

議席番号	氏名	出席	欠席	摘要
1	小松 高宏	○		
3	吉田 憲行	○		
4	石田 和朗	○		
5	長谷川 眞恵		○	
6	中西 清	○		
7	高田 浩樹	○		
8	藤野 菊信	○		
9	米沢 康彦	○		
10	佐々木 一郎	○		
11	伊部 良美	○		
12	笠原 秀樹	○		
13	木村 繁	○		
14	北島 忠幸	○		

会議録署名議員の氏名

3番議員	吉田 憲行	4番議員	石田 和朗
------	-------	------	-------

職務のために議場に出席した者の職氏名

事務局長	石田 和也	事務局次長	轟 久美子
事務局書記	安井 正樹		

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町 長	青柳 良彦	副 町 長	細井 秀之
教 育 長	出口 俊一	総務理事	杉本 恭伸
民生理事	山口 隆司	産業（兼）建設理事	水島 博之
会計管理者	友広 家延	教育委員会事務局長	菅原 辰彦

令和4年12月越前町議会定例会議事日程〔第2号〕

令和4年12月7日（水）

日程第 1 一般質問

開議 午前10時00分

- 議長（笠原秀樹君） おはようございます。
12月定例会2日目の本会議を開会いたします。
ただいまの出席議員数は12名でございます。
なお、長谷川眞恵君から欠席届が提出されております。
定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。
議事日程については、お手元に配付のとおりでございます。

日程第1 一般質問

- 議長（笠原秀樹君） 昨日に引き続き、一括質問一括答弁方式での一般質問を行います。
それでは、4番、石田和朗君。

4番（石田和朗君）登壇

- 4番（石田和朗君） 石田和朗です。

今年もスキージャム勝山から、シニアクラブ会員登録更新のご案内が届きました。今シーズンもスキーを楽しみたい。年の初めに病気に襲われ、今までのように歩くことが困難になり、以来、リハビリ治療を済生会病院、木村病院、織田病院へと継続しています。今ではおかげさまで、少しずつグラウンドゴルフやペタンクなど、仲間の励ましもありまして、杖を頼りですが、交わるようになりました。病院の待合室には、内科、外科、その他治療で、座れる椅子に余裕がないほど、たくさんの患者さんや付添人の方々が長い間、診療順番を待っています。通院の多くの方は、定時路線の福鉄バス、時刻に合わせたコミュニティバス、介護タクシー、家族の自家用車送迎、自身で運転して、ハートフル専用パーキング利用証をルームミラーにかけて駐車場から来院、徒歩での通院は、ゼロとまでは言いませんが、少ないです。

それでは、議長のお許しを得ましたので、通告書に基づき、一般質問をさせていただきます。

令和4年4月から始動、運行を開始したデマンドタクシーについてお伺いいたします。

本来の趣旨・目的について、ちょっとそこまでをコンセプトに、交通手段にお困りの弱者のため移動手段を提供し、外出機会を増やしていくことで、健康増進・維持のサービスであります。利用者の自宅と指定停留所の間をドア・ツー・ドアで結び、予約依頼があったときだけ走行するもので、定時路線のコミュニティバスなどと異なるデマンド、デマンドというのは需要や要求らしいです。デマンドタクシーと理解してよろしいでしょうか。

チョイソコえちぜん、デマンドタクシーの運行開始から、まだ半年余りしかたっていませんが、実態はどのようなものでしょうか。現在の保有台数と利用者数はどれだけか、今までの利用予約者数の実績はどれだけか。利用者のアンケートを取るほどの日数には至っていないと思いますが、今までに町民からの問合せ、運行時間、運行日、運賃などで意見はあったのでしょうか。

私は、このデマンドタクシーは、良いシステムで利用したいと思い、会員登録をしました。利用区域は、朝日区域には25指定停留所、織田・宮崎区域は29指定停留所があり、運行範囲はそれぞれその範囲内に限定され、区域外に行くには、チョイソコえちぜんで環状ルートや路線バスと接続する指定停留所まで行き、そ

ここでバスに乗り換えてくださいとパンフレットに書いてありました。さらに、ピンクの色抜きで、隣の区域、越前地区、隣接市町などには行けません、朝日地区から織田病院、宮崎地区から役場には行けませんが、お知らせの記載がしてあります。

パンフレットの地図を見ますと、指定停留所は、宮崎・織田区域は緑、朝日区域はピンクに色分けして、栞原バス停だけは朝日、織田・宮崎共通区域の水色で唯一の乗り場所。

越前町は3町1村が一つになって、ようよう融和感を得る環境になってきていますが、どうして越前地区は走行しない。宮崎・織田区域と朝日区域を区分けして、チョイソコえちぜんなのに、あさひ号とおたみや号と2つの名前をつけているのか。同じ一つの町なのに別々に分けたのか。朝日・糸生の住民が織田病院に、宮崎・織田の住民がチョイソコえちぜんで、乗り換えなしで直接なぜ行けないのでしょうか。

このようになるのには、何度も会議して、試行錯誤の上、運行に至ったのでしょうか、せめて越前町役場と織田病院は、越境乗り換えなしと特例・改善の余地はないのでしょうか。

町長に質問し、ご所見をお伺いいたします。よろしく申し上げます。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、石田議員のご質問にお答えいたします。

議員におかれましては、令和3年3月より町議会を代表し、越前町地域公共交通活性化協議会委員として、町の地域公共交通計画の内容をご理解いただき、コミュニティバスの運行並びに今日のデマンドタクシー、チョイソコえちぜんの導入に携わっていただきましたが、改めて、今日までのコミュニティバスの状況及びデマンドタクシー導入の経緯についてご説明いたします。

コミュニティバスは、町内の交通空白地帯をなくし、お年寄りなど交通弱者の移動手段を確保することを目的として、平成18年6月から運行を開始しました。以降、聞き取り調査や乗降調査などを通じて、町民の声を聞き、ニーズを反映した路線の見直し、バス停の新設及び無料運行の実施などによる利用促進に努めてまいりましたが、年間の利用者が年々減少するとともに行政負担が増加し、コミュニティバスの運行形態の抜本的見直しが喫緊の課題となっております。

このような状況を踏まえ、路線バスを含めた持続可能な公共交通を実現するため、地域住民、交通事業者、関係行政機関などによる越前町地域公共交通活性化協議会において、令和2年11月から令和3年1月までに3回の協議会を経て、新たな越前町地域公共交通計画を策定いたしました。

計画では、コミュニティバスの運行で比較的安定した利用の見られる環状ルート、越前地区巡回ルート及び乗り合いルートについては、ダイヤの見直しなどにより運行を継続することとし、利用が低迷している朝日地区、宮崎地区、織田地区の巡回ルート及び乗り合いルートは廃止とし、ドア・ツー・ドアの区域デマンド運行を新設すると決めました。

そして、議員も委員として出席された令和3年6月、11月の協議会で承認をいただき、本年4月から、デマンドタクシー、チョイソコえちぜんの運行をスタートいたしました。

議員も既にご承知のとおり、チョイソコえちぜんは交通手段にお困りの方の移動手段として、運行予約があった場合に、自宅と指定停留所間を運行するデマンド

タクシーです。運行車両は朝日区域、宮崎・織田区域ともに2台です。1号車は町が購入した6人乗りの車両で、2号車はタクシー事業者が所有している3人乗りの車両になります。

利用登録者は11月末現在で229人、延べ利用者数は796人です。

なお、利用者の約9割が70歳以上の方となっております。

議員ご質問の町民からの意見につきましては、土日の運行や予約の時間帯などについて問合せがありました。また、料金については、70歳以上の方のコミュニティバス1乗車料金100円に比べて、400円という料金設定が高いと受け取られている方がいる一方、ドア・ツー・ドアのおかげで大変便利に利用させてもらっているとの声もいただいております。

さて、当町の交通体系は、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーがそれぞれ運行しており、そのほかに民間のタクシーもご利用できます。路線バスは通勤・通学など広域の移動手段、コミュニティバスは地区をまたぐ移動手段、デマンドタクシーは地域内の移動手段として、それぞれの役割を明確にし、ネットワークを構築しています。

議員ご提案の朝日から織田病院、織田から役場への移動は、路線バス、コミュニティバスの環状ルートがその役割を担っております。ネットワークの役割を侵すような運行、例えばデマンドタクシーを地域を越えて運行することは、路線バスやコミュニティバスと競合することとなり、どちらか一方の利用者を減らし、運行継続を困難にさせ、ひいては路線の廃止にもつながりかねません。

路線バス利用者が減少し、路線バスの廃止によりバス事業者が撤退した場合、運行を再開することは極めて困難であり、そのような事態を招くことは絶対に避けなければなりません。

したがって、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーの連携・共存が求められる中、地区をまたぐデマンドタクシーの運行はできません。

いずれにいたしましても、運行がスタートしてから、まだ1年を経過しておりません。利用者も徐々に増加しており、今後も利用者の声を聞きながら、改善できるところは改善し、利用促進に努めてまいります。

以上です。

○議長（笠原秀樹君） 石田和朗君。

○4番（石田和朗君） これから寒くなり、高齢者や障害者、交通弱者には、大雪とか強風で傘が差しにくくなり、外出にはデマンドタクシーほど、頼りになり役立つものはないと私は確信しております。

これからも、一番最後に町長さんが、交通機関との兼ね合いのことをおっしゃられていただきましたけれども、それを信じて、町民に寄り添う施策をこれからも続けていただきたいと思います。

それでは、一般質問の機会を与えていただいた議長、誠実に答弁をお答えいただいた町長さんにお礼を申し上げて終わります。ありがとうございました。

○議長（笠原秀樹君） これで石田和朗君の一般質問を終わります。

次に、11番、伊部良美君。

11番（伊部良美君） 登壇

○11番（伊部良美君） 議長のお許しをいただきましたので、通告書に基づいて質問をいたしたいと思います。

質問に先立ちますが、まず、私たちの生活に、ここ近年、苦しみ亡くなられた方、今後も不安を抱きながら生活が続く中、今回、塩野義製薬会社の生みの親、立花

裕樹部長の手によって、国産初の新薬コロナ治療薬ゾコーバが開発され、まさに日本国民が待ちに待ったゾコーバかと感謝の念を申し上げますとともに、期待をいたしたいと思っております。

普通、通常、臨床試験には、早くて9年から16年の年数の時間を要すると聞いておりますが、今回は、塩野義製薬の立花部長をはじめといたしまして、研究員の方々の日夜を問わずして涙ぐましい研究の下で努力された結果、それでも昼夜を問わず研究を重ね、2年9か月の経過の研究を要したと言われております。スピードを上げられたことに対して、通常の人件費等の7割、8割を費やし、努力の成果を見ることができたことに感謝を申し上げたいと思っております。

今後、コロナの症状が出た人でも、7、8日かかる人でも、1日で服用効果が表れ、回復されるとの明るい情報も得られています。今後は、我々の手元に早く届き、コロナのゼロ運動の足がかりになればと思ひ、期待を寄せたいと思っております。

それでは、本題の質問をさせていただきたいと思ひます。

1点目に、新幹線金沢―敦賀間の開業に伴う新駅舎周辺整備のモニュメントの設置について伺いたいと思ひます。

北陸新幹線への金沢―敦賀間の開業に向かって、新駅の宿舎もあちこちと建設も出来上がり、本町に特に利用されようとする福井駅や越前たけふ駅はほぼ完成され、令和6年春の開業を待つかのように進められています。

特に越前たけふ駅は、コウノトリをイメージした駅舎にかたちどられ、空にはぼたく威容なものに感じられ、丹南地区の経済や文化に大きく寄与され、今後の発展に大きく貢献されるものかと思っております。

福井駅には恐竜のモニュメントが堂々としてありますが、越前たけふ駅周辺にも越前がにや越前水仙の、県産のかに、県花の水仙のモニュメントの設置を考えてもらえないかとお伺いをいたします。

2点目になりますが、全国豊かな海づくり大会の開催誘致について伺いをいたします。

先般、令和4年11月12日、11月13日の2日間の両日にかけて、第41回全国豊かな海づくり大会が兵庫県明石市で盛大に行われました。もちろん、町長自身もテレビ等で見られたものかと思っておりますが、本町においても同じくして、今年初めての越前がにの朝市まつりが実行委員会の下で行われ、例年どおりコロナ対策を取りながら、朝市まつりに県内外から大勢のお客でごった返し状態で、大変なにぎわいでありました。

初日の12日は、天気にも恵まれ、アクティブランドを利用されましたが、車の動くことによって砂ぼこりが巻き上がり、宙に舞う感じで、駐車場にされていたお客さんには、大変なご迷惑や苦情があったように伺っております。

13日は小雨であったのですが、時間がたつにつれ、車の出入りによってぐしゃぐしゃになって、利用された方は大変な思いをされたことかと思っております。

19日、20日の2回目の朝市まつりには、雨の予想もあり、事前に前もって使用禁止され、車旅行からシャトルバスの運行に変え、乗り切ったように伺っています。

青柳町長になられて、若さと決断力で、今後、関係者の方と協議・検討されることをお願いいたします。

私は豊かな海づくり大会について、今後の海の在り方、世界の人々が難民状態で生活苦にさらされていたり、様々な観点から見直されるものかと思っております。

今回、本町の定置網の潮の海流による被害についても、長年漁師をされているが、今までの経験からすれば想像を絶するものであり、今後の海に対する予想することの不安感を抱くものかと思っております。

本町の越前がにを誇る漁場を死守するためにも、ぜひ町長、福井県水産課と本町の漁業の発展など考え、5、6年先になることかと思っておりますが、豊かな海づくり大会を誘致し、今後の若者の漁業の担い手の育成のためにも、越前町漁業組合や水産業者の協力を賜り、本町で豊かな海づくり大会が当地で開催されるよう働きかける考えにならないか伺いたいと思います。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、伊部議員の質問にお答えいたします。

令和6年3月の北陸新幹線金沢－敦賀間の開業まで1年半を切り、県内各地では、駅舎や線路などの工事が急ピッチで進められています。県内の各駅は、10月までに3駅が駅舎の建築工事を終え、駅の周辺も地元自治体において整備が進められ、越前武生駅の周辺整備も本年度末に工事を終えると伺っています。

今回、越前武生駅へのモニュメント設置とのご提案ですが、越前がにや越前水仙は、県の魚・県の花として、これまでに福井県や関係市町・関係団体などによって、県外に広くPRされてまいりました。中でも越前がには、福井県の水産ブランドとして知られ、福井といえば越前がにと言われるほど、全国的にも高い知名度を誇っています。

一方、本町の海岸線には、既に越前がにや水仙の里のモニュメントが幾つも設置されており、本町を訪れた方に対し、越前がに、越前水仙の本場である越前町を強くPRしているものと考えます。

このため、越前たけふ駅に限らず、越前がにや越前水仙の新たなモニュメントの設置は、現時点では必要ないものと考えますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

次に、全国豊かな海づくり大会の開催誘致についてのご質問ですが、この大会は、天皇・皇后両陛下をお迎えし、県が主体となって執り行われる全国植樹祭、国民体育大会、国民文化祭と並ぶ4大行幸啓の一つです。

昭和56年の大分県での第1回大会から今年の兵庫県まで、これまで41回開催され、今後、令和9年までは開催県が内定していると伺っています。

福井県では、昭和61年に小浜市を会場に、当時の皇太子殿下・皇太子妃殿下にご臨席を賜り、盛大に開催されたと聞いております。本県で開催となれば、環境への意識啓発のほか、福井県をはじめ開催地となる市町における様々な水産振興の取組を全国にPRできるすばらしい機会と思っております。

一方で、近年の開催県にお伺いしますと、開催規模によりますが、4億円から6億円の経費を要し、開催地となる市町もその1割程度を負担しているとのことです。そのほかにも、開催に必要な環境の整備、例えば議員ご指摘の駐車場整備などの費用も、開催地の市町が負担することとなる模様です。

取組内容は様々ですが、1年前にはプレ大会の開催や100日前の記念イベントを企画するなど、開催年の3年前には本格的な準備を始めることとなり、主催する県へ職員を派遣したところもあるように聞いております。

このような中、今年9月の福井県議会定例会の一般質問において、杉本知事は、今後開催をする市や町と協議を進めながら、開催の時期や費用負担などのご理解もいただきつつ、本県への誘致を進めていきたいと、開催に向けて前向きな考え

を示されました。また、敦賀市選挙区選出の力野議員におかれましては、敦賀市での開催を本会議でお願いしたと認識しています。

開催地となる市町について、福井県によりますと、現時点では未定とのことですが、本町への誘致につきましては、開催地の経済効果と、先ほど述べました経費や人員面での負担を考慮しますと、本町の現状では非常に難しいものと考えますので、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（笠原秀樹君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ただいま町長の答弁にありました、本当にまた誠意を持って、今後対応していただきたいと言います。

再質問になりますが、福井駅については、福井市土地戦略部副理事新幹線整備課長事務取扱の方や、福井市都市戦略部新幹線整備課主幹の方や副主幹の皆さん方とご理解もいただいております。ぜひ町として福井市のほうへ積極的にアプローチしていただき、越前がにモニュメントやポスターなどの誘客に対しての効果を生み出す政策を目指すよう、協力をお願いする考えにならないか伺いたいと思います。

越前たけふ駅については、越前市産業観光部観光誘客課副課長に駅周辺の整備について、私のほうからも越前がに、越前水仙のモニュメントなどについて要請などお伺いしましたところ、賛同賜り、県のブランド課の方へ要望されるとよろしいかと積極的にアドバイスのご意見をいただきまして、福井県交流文化部ブランド課の課長補佐とお会いをいたしまして、町としてのお考えがございましたら前向きに検討させていただくという、ありがたいお言葉をいただいております。

ぜひ町として、駅周辺の玄関口に越前がにの本場であるかに、水仙をいつまでも愛していただく印象を与える意味からも、町長に考えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

2点目の、この5、6年の間に本県にも新幹線も開業され、本県の漁業関係についても、本県の漁連を中心にされていた組織再編なども考えられているようで、嶺北の町は我が本町に集結されるようにも伺っております。

本町の漁業組合においても、念願でありましたドック場の建設も、県の協力を賜り完成することができました。今後は、漁連と本町の漁業組合がタイアップされ、嶺北の町の結集されたハサップの建設が計画もされて、早期の実現を目指されているように伺っております。

ぜひ町長、こういった課題も完成され、豊かな海づくり大会の開催を県が協力して実現していただくように伺いますが、いかがなものかお伺いをいたします。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

○町長（青柳良彦君） 初めに、福井駅周辺へのモニュメントの設置ですが、福井市にお伺いしたところ、福井駅周辺は、恐竜王国・福井の世界観を統一するため、恐竜に関するもの以外は常設しない方針を県や商工会議所と協議の上、決定しているとのこと。

また、新幹線福井駅駅舎東口に隣接して、現在福井市が整備している福井市観光交流センターも同様に、恐竜関連以外は設置しないとのこと。

なお、ポスターなど誘客に向けた広報物は、この福井市観光交流センターに設ける貸しスペースを活用できると伺いましたので、施設オープン後の運用方法を見極めた上で検討してまいります。

次に、越前たけふ駅周辺に関しまして、越前市にお伺いしたところ、越前市としては、かにのモニュメント設置とのアイデアには賛同するが、費用の負担までは

考えていないとのことです。県においても、県内市町の観光資源や特産品を用いたモニュメント設置について、特段の方向性や施策は、現時点において持っていないとのことです。

また、県への設置要望であれば、関係市町と協議をまとめた上で提出していただきたいとのことです。

町といたしましては、これまでのPR効果もあり、本町を訪れる方は出発前から目的を持って来られる方が大勢を占めており、駅に降り立って、モニュメントをきっかけに本町へ来られることは少ないと考えます。

また、県による設置となりますと、関係市町の費用負担なども考えられます。このため、費用対効果を考慮いたしますと、本町への誘客効果は低いと思われ、関係機関へのモニュメント設置の要望は見送りたいと考えますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、本町での全国海づくり大会の開催についてお答えいたします。

福井県並びに福井県漁業協同組合連合会において、組織の再編、産地・市場の統合・再編を計画されていることは伺っております。また、越前町漁業協同組合における漁船の浄化施設並びに高度衛生管理などの市場施設の整備は、合併前からの念願であり、浄化施設は本年度に完成し、高度衛生管理型の市場施設は、令和8年度頃の着工を目指し、関係機関と協議を進めていると聞いております。

今後、予定どおりに整備が進めば、全国豊かな海づくり大会を誘致する一因になるとは考えますが、大会経費の負担に充てられる有効な財源も見当たらない中、本町をメイン会場としての誘致は見送らざるを得ないと考えます。

なお、他市町での開催となった場合、県からの要請には協力してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（笠原秀樹君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ありがとうございます。

それでは、最後になりますが、越前市では駅周辺の土地に研究開発施設の誘致を考えられ、駅近くの農地約18ヘクタールの土地を念頭に協議され、進められているように伺っております。そうした誘致に対し、来年1月を目標時期として、土地取得のために地権者の同意が得られるように取り組んでいられることもお聞きしております。

町長、この施設にも、本町の地場産業や観光施設等にも協力を要請するようにお願いをいたしたいと思えます。

一方、越前ガニ等のモニュメントに対し、何か消極的な答弁であります。駅に降りました方が駅に着いたところ、やったというモニュメントのかいを見てワクワク感を抱き、早く食べたいと思う気持ちに駆られると思えますが、そういう気持ちを大事にしたいと思えますが、検討していただくようお願いを申し上げます。

次に、町長の答弁にもありましたが、本県で豊かな海づくり大会が開催されるようになれば、本町としても協力をしたいとの考えに対し、敬意を表すものでございます。今後、誘致に関して、県の水産課を中心にして、本町の漁業関係者と手を携えながら検討させていただき、本町に誘致の開催地が話題にでもなれば、町長、ぜひ受けて賜りたいと思っております。

負担金の1割についても、本町をはじめ、本県の漁業関係者の協力を賜れば、問題ないものかと考えてもおります。今後の越前町の水産業の発展の経済効果は、目をみはるものがあるかと考えられますので、町長の勇断に期待をいたしたいと

思っております。

これで私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（笠原秀樹君） これで伊部良美君の一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。

本日の会議はこれで散会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（笠原秀樹君） ご異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで散会いたします。

なお、明日は午前10時から全員協議会を開催いたしますので、定刻までにお集まりください。

ご苦労さまでした。

散会 午前10時40分